

単元名 1 広がる学びへ ―問いを立てながら聞く

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。
 (2) 提案内容を理解し、その要点を的確にメモを取ることができる。
 意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にすることができる。
 (3) 進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとする。

標準的な展開例

11210103_001

【準備等】国語指導CD, 再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 話の要点や順序を整理しながらメモを取る。</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★話の要点や順序を整理しながらメモを取ろう。</p> <p>○ 日常生活の中でメモを取るとき、情報を的確に聞き取るために工夫していることを考える。</p> <p>○ 「友達の提案」を聞き、メモを取る。</p> <p>○ 話の内容を確認する。</p> <p>○ 聞くときやメモを取るときの上達のポイントを知る。</p> <p>○ もう一度「友達の提案」を聞き、メモを取る。</p> <p>○ 聞き取ったことを基に、設定した相手に対してメモの内容を見ながら説明する。</p>	<p>・ 第1学年時に学んだ、情報を的確に聞き取るためのポイントを想起させるとよい。 [聞くときのポイント] ① どのような情報が必要か考える。 ② 聞き取れなかったり、分かりにくかったりしたところは、質問して確認する。</p> <p>・ [メモを取るときポイント] ① 必要な情報を簡潔に、早く書く。 ② キーワードだけでもよい。 ③ 箇条書き、番号や記号、線を引く等、工夫して整理する。</p> <p>・ 教師が読むか、国語指導CD「話すこと・聞くこと」を使用して聞かせ、メモを取らせる。その後、周りの人と書き留めた内容を確認させる。</p> <p>・ どんなことを提案していたか、なぜ提案しようと思ったのか根拠を確認する。</p> <p>・ 「上達のポイント」(p.26)を読み、相手の話を聞くときのポイントを確認する。</p> <p>・ 小見出しや番号を付けたり、図や矢印を活用したりすることを意識させる。</p> <p>【評】上達のポイントを生かして聞き取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p> <p>・ 設定を決め、近くの生徒とペアになって説明させる。説明を受けた生徒は、確認したいことを質問する。</p>

【 備 考 】

第1学年までに学習してきたことを振り返り、第2学年の学習に新たな気持ちで臨むことができるような作品が取り上げられている。ここでは、親しみやすい詩や物語、古典などの文章を読んだり、職業に関する情報を集めたりして、これまで学習したことを振り返り、今後の学習の見通しをもたせたい。

言語活動としては、詩や物語、古典などの文章に触れることにより、言葉の豊かさに気付かせ、その場に合った表現ができるようにしていきたい。このことは、国語学習だけにとどまらず、日常生活の中でもその場に合った豊かな表現活動ができる礎になるとよい。

また、「アイスプラネット」では、ぐうちゃんの僕に対する思いはこの年代の子どもたちにとっても望まれることであり、自分のこれまでの生き方・考え方を振り返らせるよい機会となることだろう。これは、道徳のB－(9) 相互理解・寛容にあたる。